

2015年に高校を卒業した SAT 試験受験者、総数は過去最高ながら  
試験結果は全科目において前年卒業者よりも低下 (9月3日)

非営利教育機関のカレッジボード (College Board) は 9 月 3 日、同機関が提供する各種試験の結果をまとめた年次報告書「2015 年カレッジボード・プログラム結果 (2015 College Board Program Results)」を発表した。これによると、2015 年に高校を卒業した大学進学適性試験の SAT 試験受験者数は 170 万人で、2014 年卒業者の 167 万人を上回り、過去最高となったことが明らかにされた。また、受験者全体の 25.1%が受験料免除措置を受けており、前年卒業者の 23.6%を上回った。一方、試験結果を前年卒業者と比較すると、「読解力」で 2 点減、「数学」で 2 点減、「文章力」で 3 点減の合計 7 点減であることが明らかになった。さらには、試験結果を人種別で比較すると、アジア系米国人学生及び白人学生の平均点は、3 教科とも 500 点を大きく上回っているのに対し、それ以外の人種グループは、いずれの科目においても平均点は 400 点台半ばが多く、人種間での格差は縮小されていないことも明らかにされた。この他、3 科目の合計点の平均を 2006 年の結果と比較したところ、結果が向上しているのはアジア系米国人のみで、それ以外の人種グループはいずれも低下していることが判明した。

なお、本報告書は、<<https://www.collegeboard.org/program-results>>から閲覧可能。

College Board, Annual Results Reveal Largest and Most Diverse Group of Students

Take PSAT/NMSQT®, SAT®, and AP®; Need to Improve Readiness Remains

<https://www.collegeboard.org/releases/2015/annual-results-reveal-largest-most-diverse-group-students-take-psat-sat-ap>